

平成29事業年度

公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価結果

(案)

平成30年8月

公立大学法人福知山公立大学評価委員会

目次

I 平成29事業年度の業務実績評価について…… 1

II 評価結果

1 全体評価…… 4

2 大項目別評価…… 6

《公立大学法人福知山公立大学評価委員会委員》

区分	職名等	氏名
委員長	京都府立大学名誉教授 龍谷大学政策学部教授	あおやま こうぞう 青山 公三
委員長職務代理	大阪府立大学 高等教育推 進機構 教育推進課長	おおくぼ まさあき 大久保 正明
委員	社会保険労務士・行政書士 菊田学美事務所	きくた まなみ 菊田 学美
委員	学校法人共栄学園理事長	なかい ひろゆき 中井 博之
委員	細見税務会計事務所所長	ほそみ ひとし 細見 均

I 平成29事業年度の業務実績評価について

公立大学法人福知山公立大学評価委員会は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第78条の2第3項の規定に基づき、公立大学法人福知山公立大学（以下「法人」という。）の平成29事業年度における業務の実績について、「公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価方針」及び「公立大学法人福知山公立大学に関する年度評価実施要領」により評価を行った。

1 評価に関する基本的な考え方

- （1）評価は、法人の教育研究の特性や運営の自主性、自立性に配慮して行うものとする。
- （2）評価は、中期目標・中期計画の達成状況等を踏まえ、法人の組織・業務運営等に関して総合的に行い、改善すべき点等を明らかにすることにより、法人運営の質的向上に資するものとする。
- （3）評価は、法人が自主的に行う組織・業務全般の見直しや次期の中期目標・中期計画の検討に資するものとする。
- （4）評価を通じて、法人の中期目標・中期計画の達成に向けた取り組み状況やその成果をわかりやすく示し、市民への説明責任を果たすものとする。
- （5）評価方法については、必要に応じて工夫・改善を行うものとする。

2 評価方法

- （1）評価は、法人による自己評価を聴取した上で行った。
- （2）評価は、「項目別評価」及び「全体評価」により行った。
- （3）「項目別評価」は、「小項目別評価」及び「大項目別評価」により行った。

小項目別評価

年度計画の記載項目（小項目）ごとの進捗状況又は実施状況を確認し、評価を行った。

評価	進捗状況（実施状況）
5	年度計画を大幅に上回って実施している（特に優れる若しくは顕著な成果がある）
4	年度計画を上回って実施している（上回る若しくは十分な実施状況）
3	年度計画を概ね実施している（実施）
2	年度計画を十分に実施できていない（下回る若しくは実施が不十分）
1	年度計画を大幅に下回っている（特に劣る若しくは実施していない）

大項目別評価

小項目別評価の結果を踏まえ、6つの大項目（8区分）ごとに、中期計画の進捗状況について評価を行った。

(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
①教育の質の向上に関する目標を達成するための措置
②研究の質の向上に関する目標を達成するための措置
③地域協働（地域貢献）の質の向上に関する目標を達成するための措置
(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
(4) 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置
(5) その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置
(6) 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項

評価	評価基準	判断の目安
S	中期計画の達成に向け特筆すべき進捗状況である。	<ul style="list-style-type: none"> 小項目別評価の各項目の評定の平均値が4.3以上であり、かつ、業務の進捗状況や特記事項の内容に特筆すべき進捗や取組みがあると評価委員会が認める場合。
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。	<ul style="list-style-type: none"> 小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.5以上4.2以下であり、かつ、評価委員会が「A」と認める場合。 小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.5以上4.2以下に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「A」相当と認める場合。
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。	<ul style="list-style-type: none"> 小項目別評価の各項目の評定の平均値が2.7以上3.4以下であり、かつ、評価委員会が「B」相当と認める場合。 小項目別評価の各項目の評定の平均値が2.7以上3.4以下に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「B」相当と認める場合。
C	中期計画の達成のためには進捗が遅れている。	<ul style="list-style-type: none"> 小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9以上2.6以下であり、かつ、評価委員会が「C」相当と認める場合。 小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9以上2.6以下に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「C」相当と認める場合。
D	中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。	<ul style="list-style-type: none"> 小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.8以下であり、中期計画の達成のためには重大な改善事項があると、評価委員会が認める場合。

全体評価

「項目別評価」の結果を踏まえ、法人の中期計画の達成に向けた業務の進捗状況を総合的に勘案して評価を行った。

評価	評価基準
S	中期計画の達成に向け特筆すべき進捗状況である。
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。
C	中期計画の達成のためには進捗が遅れている。
D	中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

Ⅱ 評価結果

1 全体評価

(1) 評価結果

評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

(2) 総評

法人は、教育のまち福知山における「知の拠点」として、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）に基づき、福知山公立大学を設置し、及び管理することにより、総合的な知識と専門的な学術を深く教授研究するとともに、地域協働型教育研究を積極的に展開することにより、地域に根ざし、世界を視野に活躍できる高度な知識及び技能を有する人材を育成し、北近畿地域の持続可能な地域社会の形成と地方創生に寄与することを目的としている。

第1期中期目標期間2年目の事業年度となる平成29年度の業務実績の特筆すべき事項として、

- ①公益財団法人大学基準協会による大学認証評価「適合」の認定を受け、旧成美大学時代から承継していた「不適合」状態を解消したこと。
- ②福知山市、国立大学法人京都工芸繊維大学と連携し、キャンパス整備計画、新学部設置計画など福知山公立大学の将来構想となる「知の拠点」整備構想の策定に参画したこと。
- ③メディアセンター改修工事、北近畿地域連携センター第2期工事、まちかどキャンパス整備工事、駐輪場改修工事を実施し、教育研究環境の充実と地域に開かれた大学づくりに取り組んだこと。
- ④福知山市と連携しつつ、教職員が一丸となって、入試説明会、高校訪問、出張講義など精力的に学生募集活動を実践された結果、志願者761人、入学者125人（編入学5人を含む。）を確保したほか、在籍学生数も順調に増加していること。
- ⑤福知山公立大学開学記念連続講演会、公開講座等の開催、北近畿地域連携会議の設立など、地域協働の質の向上に関わる取り組みを多数実施したこと。

などが挙げられる。

さらに、安定的な法人経営・大学運営に向けて、志願者、入学者の確保等による自主財源を確保するとともに、一般管理費等の抑制による経費削減を通じて収支黒字を達成するなど、大学の経営努力が認められる。今後も一層の経営努力を図りたい。

理事長のリーダーシップのもと、限られた予算と教職員の中で、機動的な大学運営に取り組まれており、地域に根ざした公立大学として着実に進捗していると評価できる。

以上のような状況や、6つの大項目（8区分）別評価結果のいずれもが「B」（中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。）となっている状況を総合的に勘案し、全体評価は、「B」（中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。）と評価する。

しかしながら、開学後の志願者の増加要因は公立大学法人化したことによる効果が大きいことも事実であり、今後、18歳人

口が減少していくことを考えると、大学間競争はますます激化することが予想される。全国から多数の志願者を集めることができた一方、地元である北近畿地域からの志願者が昨年に引き続き少ないことが課題であり、福知山公立大学が真に「地域のための大学」となるためには、さらなる取り組みが必要である。若者の地元定着が地域の課題となっている昨今、北近畿地域の持続可能な地域社会の形成と地方創生に寄与することを目的とする法人の責務として、地元の高校生が入学したいと思える大学となるよう、大学の魅力づくりに取り組むとともに、地元高校への学生募集活動をより一層強化していただきたい。

開学当初から現在に至るまで法人には様々な問題が山積している状態にあると推察されるが、法人は、現時点の成果に満足することなく、今回明らかとなった課題を十分点検し、必要な改善を施していただきたい。加えて、今後急激に変化していく社会環境への対応や社会の期待に応えるため、常にガバナンス体制の点検・見直しを行うとともに、人材育成・組織パフォーマンスの向上を図るため、教職員人事評価制度の導入を進めるなど教職員の意識改革を図ることを通じて、教育・研究・地域貢献機能の最大化に取り組んでいただきたい。

また、開学から数年間は厳しい財政状況であることは理解するが、現在取り組まれている新学部設置に向けては大量の業務を伴うものである。今後の新学部設置準備業務の進捗状況を見る中で、過度に教職員の負担が増えるようであれば、教職員の増員等も含め検討し、適正な労務管理を行われたい。

なお、全体を通して目標設定が漠然とした年度計画が見受けられるため、中期目標、中期計画の達成に向けて取り組まなければならない事項は何なのかを意識した上で年度計画を設定するとともに、具体的な数値目標を入れるなど市民にできるかぎりわかりやすい表現で業務実績報告書を作成いただきたい。

【大項目別評価結果】

大項目	評価結果	S	A	B	C	D
		中期計画の達成に向け特筆すべき進捗状況である	中期計画の達成に向け順調に進捗している	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している	中期計画の達成のためには進捗が遅れている	中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある
第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置	B			○		
第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置	B			○		
第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 3 地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標を達成するための措置	B			○		
第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	B			○		
第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	B			○		
第7 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置	B			○		
第8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	B			○		
第14 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項	B			○		

2 大項目別評価

第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置

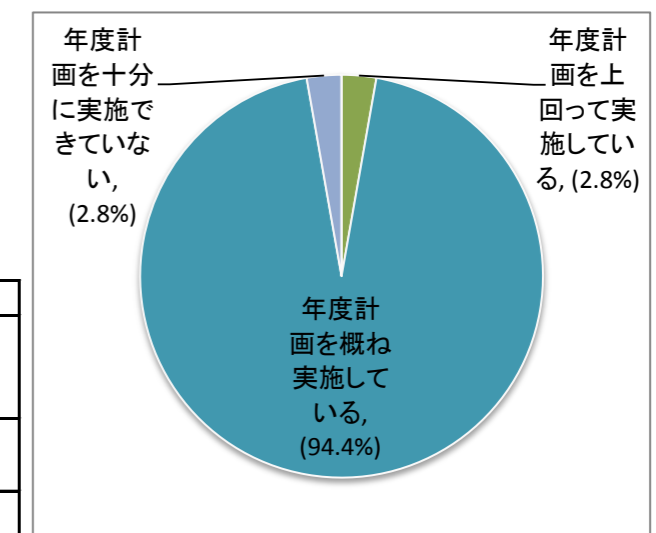
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均値
3.0

(1) 評価理由

小項目別評価において、36項目中1項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、34項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となった。1項目が「2」（年度計画を十分に実施できていない）という評価結果であるものの、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	36	0	1	34	1	0
	構成比(%)	(0.0%)	(2.8%)	(94.4%)	(2.8%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 大学認証評価を受審し、以前の「不適合」から「適合」の評価を受けたことは、大きな努力の賜物であり、実質的に新たな大学としてのスタートに立ったと思われる事項である。より高みを目指し努力いただきたい。
- 地域社会のニーズの理解や多角的な視点という観点で、グローバル特別講義、公共経営演習等で北近畿地域で活躍されている方を積極的に学外から招いて特別講義を行われたことは有意義である。
- 開学当初から現在も課題が山積の状態と推察されるが、その中で教育の質の向上に向けてよく努力されている。
- 福知山市と連携しつつ、教職員が一丸となって延べ1,000校近い高校を訪問するとともに、入試説明会、出張講義を行うなど、精力的に学生募集活動を実践された結果、多数の志願者を確保できたことは評価できる。
- 旧成美大学学生に対するきめ細かな教育指導及び教育充実を図られたことや、就職支援の結果として就職率100%を達成できたことは特筆すべきことであると評価できる。
- 福知山市、国立大学法人京都工芸繊維大学と連携し、キャンパス整備計画、新学部設置計画など福知山公立大学の将来構想となる「知の拠点」整備構想の策定に参画した。

(課題となる点等)

- 今後の年度計画では、志願者数、志願倍率に加え、地域別の入学者数等の目標設定を行ったうえで、具体的な活動目標（高校訪問数、エリア、SNS登録者数等）を設定いただきたい。
- 開学記念連続講演会を開催するなど、地域貢献活動の観点では評価できるが、学生の学修アウトカム（学修成果）や教養教育の充実にどのようなにつながったのか明確化を図る必要がある。
- 今後の年度計画では、台風や豪雨などの大規模災害に対応するための学生の安全確保対策について、具体的な記載があれば望ましい。
- 全国から多数の志願者を集めたことは評価できるが、地元である北近畿地域からの志願者が昨年に引き続き少ない。地域に根ざした公立大学として、福知山市及び隣接地域の高校からの志願者が増えるよう、引き続き福知山市と連携しながら、より一層努力いただきたい。

2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置

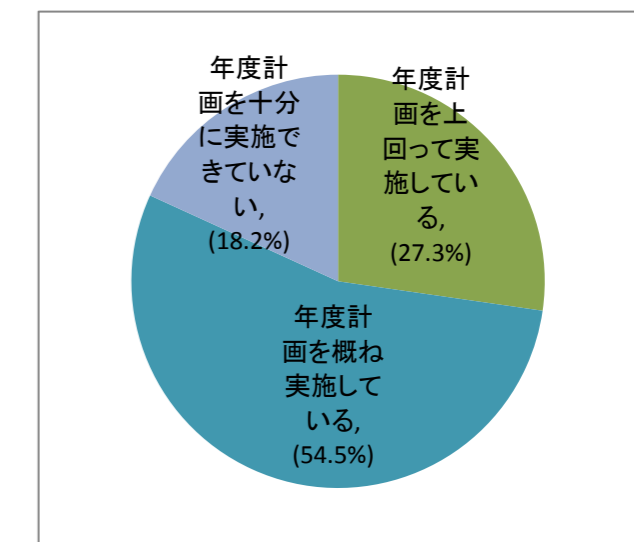
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均値
3.1

(1) 評価理由

小項目別評価において、11項目中3項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、6項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となった。2項目が「2」（年度計画を十分に実施できていない）という評価結果であるものの、評定平均値が3.1となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	11	0	3	6	2	0
	構成比(%)	(0.0%)	(27.3%)	(54.5%)	(18.2%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 開学当初から現在も課題が山積の状態と推察されるが、地域経営学研究会や北近畿地域連携会議を発足させ、学内外の教員等が共同して研究を行うなど、地域に資する地域経営研究の拠点大学づくりへの取組を進められており、研究の質の向上に向けてよく努力されている。

(課題となる点等)

- 外部資金の獲得は、研究の質の向上だけでなく財務内容の改善にも関連しており重要である。したがって、外部資金の獲得をより一層推進し、成果を出すには、努力するという目標ではなく数値目標を設定いただきたい。
- 外部資金（科学研究費補助金等）獲得は外部要素もあり容易ではないと推察されるが、継続して取り組んでいただきたい。

3 地域協働（地域貢献）の質の向上に関する目標を達成するための措置

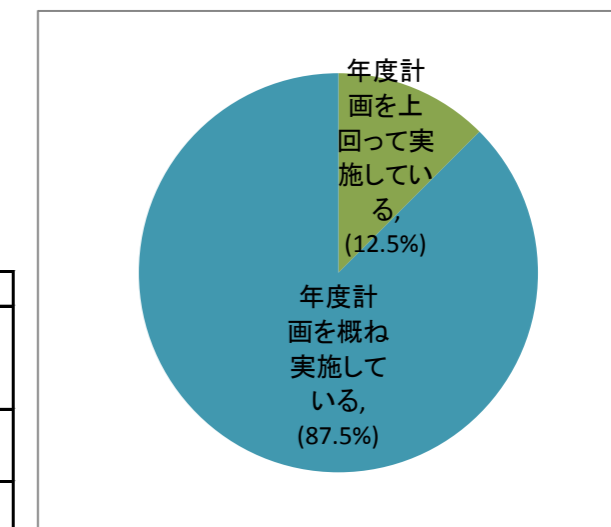
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均値
3.1

(1) 評価理由

小項目別評価において、16項目中2項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、14項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となり、評定平均値が3.1となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	16	0	2	14	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(12.5%)	(87.5%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 公開講座、地域創生セミナー、子ども・若者・社会人を対象とした講座等を年度計画の数値目標より多数開催できている。
- 北近畿地域連携会議の設立、まちかどキャンパスのスタート、そして北近畿地域の行政機関や企業や地域団体との連携など、地域協働の質の向上に関わる取り組みが着実に進められている。

(課題となる点等)

- 目標設定が漠然とした年度計画が見受けられるため、今後の年度計画では、計画と実績との関係について正しく評価できるような具体的な目標を設定していただきたい。
- 福知山公立大学の様々な地域連携活動や企画を市民にわかりやすく伝えられるよう多くの機会を通じて情報発信していただきたい。

第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

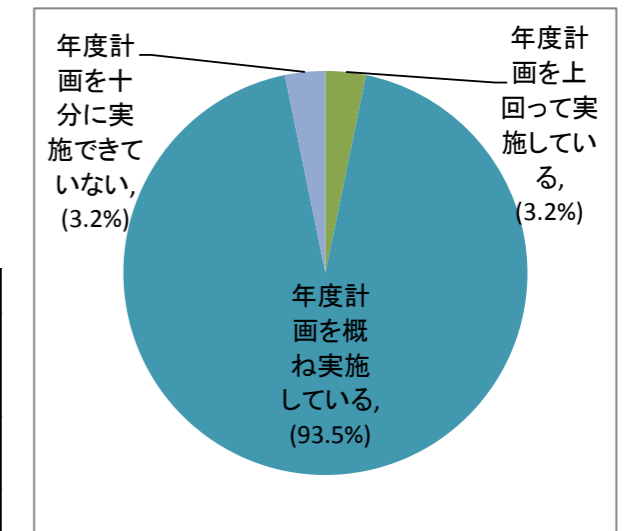
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均値
3.0

(1) 評価理由

小項目別評価において、31項目中1項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、29項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となった。1項目が「2」（年度計画を十分に実施できていない）という評価結果であるものの、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	31	0	1	29	1	0
	構成比(%)	(0.0%)	(3.2%)	(93.5%)	(3.2%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 開学当初から現在も課題が山積の状態と推察されるが、その中で業務運営の改善及び効率化に向けてよく努力されている。
- 大学認証評価を受審し、以前の「不適合」から「適合」の評価を受けたことは、大きな努力の賜物であり、実質的に新たな大学としてのスタートに立ったと思われる事項である。より高みを目指し努力いただきたい。

(課題となる点等)

- 北近畿地域連携会議の研究会、教員研究プロジェクトの成果発表会及び研究交流会、包括協定締結団体との定期協議会などを多数企画し、研究成果の学内外への共有、還元に努められているとともに、市民や各種団体等との交流を積極的に行い、外部意見の取り込みに努められている点は評価できるが、そうした外部意見を法人経営・大学運営に反映し、経営改善につなげられるよう努力いただきたい。
- 教職員の適正な人員配置は、創生期の大学にとって大きな課題である。通常業務に加え新学部設置準備業務を行うとなると、今後ますます教職員の負担が増えることが予想されるため、過度に教職員の負担が増えるようであれば、教職員の増員等も含め検討し、適正な労務管理を行っていただきたい。
- 市民ニーズの把握が弱い。講演会等におけるアンケートはニーズ把握ではなく、講演の満足度を測るものであるため、別途ニーズの把握を行う必要がある。また、今後の大学運営にあたり、企業ニーズの把握は非常に重要であるため、是非取り組んでいただきたい。
- 職員の姿勢、適性、資質、技能及び成果等を公正に評価し、人材教育の観点で能力開発やスキルアップを図り、組織パフォーマンスを向上させるために、教育機関に合った人事考課制度を整備して運用を工夫改善いただきたい。
- 目標設定が漠然とした年度計画が見受けられるため、今後の年度計画では、計画と実績との関係について正しく評価できるような具体的な目標を設定していただきたい。

第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

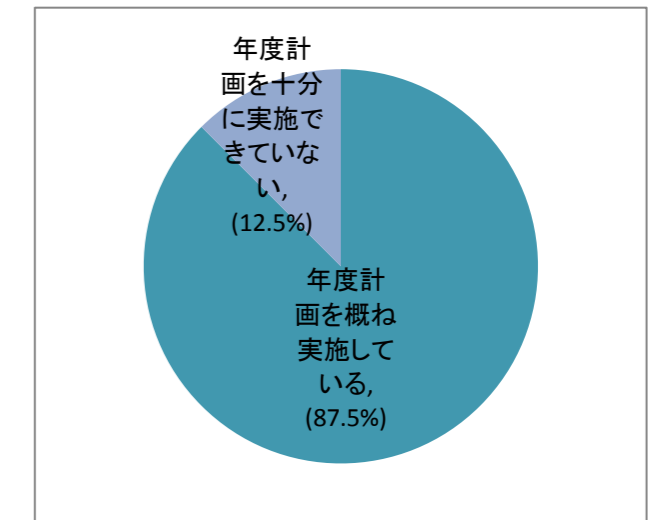
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均値
2.9

(1) 評価理由

小項目別評価において、24項目中21項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となった。3項目が「2」（年度計画を十分に実施できていない）という評価結果であるものの、評定平均値が2.9となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	24	0	0	21	3	0
	構成比(%)	(0.0%)	(0.0%)	(87.5%)	(12.5%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 安定的な法人経営・大学運営に向けて、限られた予算と教職員の中で、志願者、入学者を確保するなど、自主財源の確保に努めるとともに、教職員が互いの業務を補佐し合うことにより一般管理費等を抑制し経費削減を行った結果、収支黒字を達成したことは経営努力によるものと評価できる。

(課題となる点等)

- 教職員の適正な人員配置は、創生期の大学にとって大きな課題である。通常業務に加え新学部設置準備業務を行うとなると、今後ますます教職員の負担が増えることが予想されるため、過度に教職員の負担が増えるようであれば、教職員の増員等も含め検討し、適正な労務管理を行っていただきたい。
- 外部資金の獲得は、研究の質の向上だけでなく財務内容の改善にも関連しており重要である。したがって、外部資金の獲得をより一層推進し、成果を出すには、努力するという目標ではなく数値目標を設定いただきたい。
- 全国から多数の志願者を集めたことは評価できるが、地元である北近畿地域からの志願者が昨年に引き続き少ない。地域に根ざした公立大学として、福知山市及び隣接地域の高校からの志願者が増えるよう、引き続き福知山市と連携しながら、より一層努力いただきたい。

第7 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置

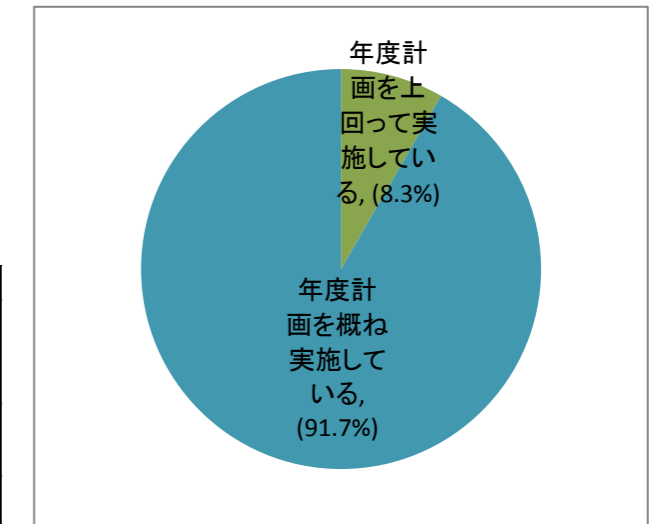
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均値
3.1

(1) 評価理由

小項目別評価において、12項目中1項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、11項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となり、評定平均値が3.1となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	12	0	1	11	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(8.3%)	(91.7%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 大学認証評価を受審し、以前の「不適合」から「適合」の評価を受けたことは、大きな努力の賜物であり、実質的に新たな大学としてのスタートに立ったと思われる事項である。より高みを目指し努力いただきたい。

(課題となる点等)

- 年度計画を実施することにより、いかに中期計画の実施につながり、中期目標達成に向けてどのように関わっているかという点を意識して、市民にわかりやすいように実施状況を記載いただきたい。

第8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

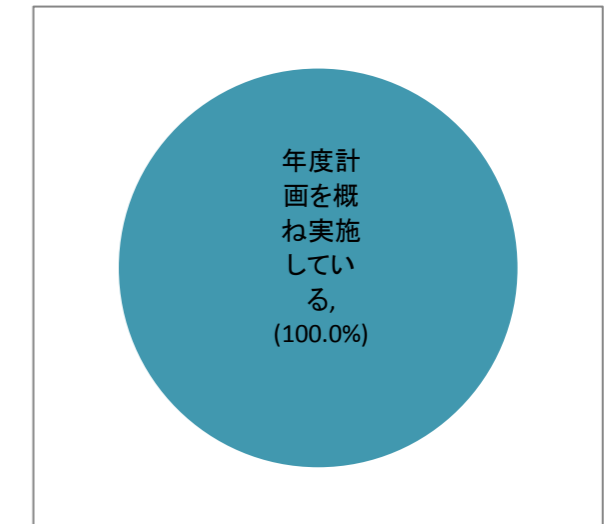
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均値
3.0

(1) 評価理由

小項目別評価において、22項目中22項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となり、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	22	0	0	22	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 内部監査及び監事監査の実施、ハラスメント防止・研究不正防止・研究倫理教育に関する研修の実施、公益通報者保護規程の改正など、コンプライアンスに関する体制や規程を整備することにより教職員及び学生の意識の向上を図り、公立大学法人としての社会的信頼の維持及び業務を適法・適正に推進している。
- 教育研究環境の充実と地域に開かれた大学づくりのため、メディアセンター改修工事、駐輪場改修工事、北近畿地域連携センター第2期工事、まちかどキャンパス整備工事など、学生のみならず地域住民や企業等も利用しやすい環境づくりに配慮した様々な施設整備に取り組まれていることは評価できる。

(課題となる点等)

- 特記すべき事項なし。

第14 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項

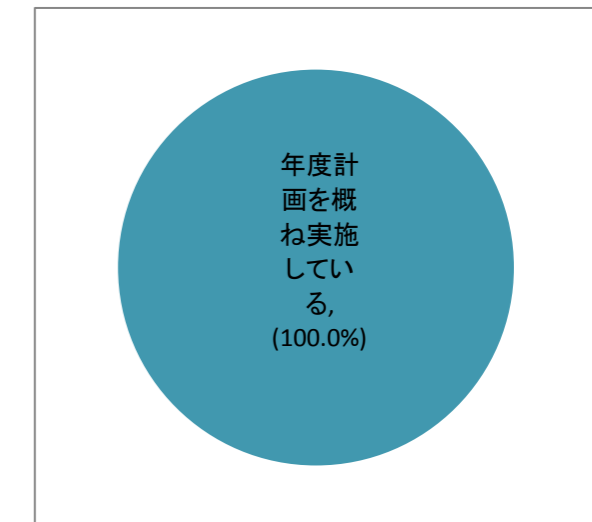
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均値
3.0

(1) 評価理由

小項目別評価において、7項目中7項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となり、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	7	0	0	7	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 教育研究環境の充実と地域に開かれた大学づくりのため、メディアセンター改修工事、駐輪場改修工事、北近畿地域連携センター第2期工事、まちかどキャンパス整備工事など、学生のみならず地域住民や企業等も利用しやすい環境づくりに配慮した様々な施設整備に取り組まれていることは評価できる。

(課題となる点等)

- 職員の姿勢、適性、資質、技能及び成果等を公正に評価し、人材教育の観点で能力開発やスキルアップを図り、組織パフォーマンスを向上させるために、教育機関に合った人事考課制度を整備して運用を工夫改善いただきたい。